

# 情報通信月間参加行事 行事報告書

行事コード	Cc08M	行事名	ワイヤレス・テクノロジー・パーク2007(WTP2007)	
日時	4月4日(水)～5日(木)		場所	パシフィコ横浜 展示ホール、アネックスホール
展示会等会場来場者数	5,112名(登録者数)		実施結果に対する感想・反省等	出展者意見の集計結果
講演会等参加人数	約2,600名(延べ人数)			ブースコンタクト数などは予想通り、フォーラム中の展示会来場が意外に多かったので展示会だけでも集客できそう。
Webアクセス数	不明			予想より多くの方特に技術者が来訪された。
主催団体	主催:YRP研究開発推進協会 YRPアカデミア交流ネットワーク 独立行政法人情報通信研究機構		前回の雰囲気が続いて感じられた。目前ではなくその先に向けて開発中の技術が紹介されているという雰囲気が他展示会とは一線を画していると思われた。	
実施行事概要	WTP2007は無線通信・研究開発分野に特化した専門イベントであり、海外からのVIPの来訪者も30名に及び各種フォーラムやビジネスセッションで講師を務めた。(中国:9名、ロシア:2名、マレーシア:2名、台湾:17名)		ワイヤレス分野の専門家が多く来場されるので、技術的感心が高い。また、フォーラムなどとの併設展示となるので、それらの参加者が展示をご覧になることと、会場内を1時間程度で見てまわることから、ブースでの滞在時間が他の展示会より長い。出展者としても意見交換や情報収集ができる。	
	1. 開会式: 実行副委員長挨拶: YRP研究開発推進協会 会長 麩 昭男 ご来賓挨拶:総務大臣 菅義偉 神奈川県 尾高暉重副知事 横須賀市 蒲谷亮一市長  テープカット 菅 義偉 総務大臣 尾高 暉重 神奈川県 副知事 蒲谷 亮一 横須賀市長 石渡 恒夫 京浜急行電鉄(株) 代表取締役社長 羽鳥 光俊 YRP研究開発推進協会 名誉会長 麩 昭男 WTP2007実行委員会副委員長 YRP研究開発推進協会 会長 / (財)テレコムエンジニアリングセンター 理事  長 歌野 孝法 (株)NTTドコモ 取締役常務執行役員 平田 康夫 WTP実行委員 (株)KDDI研究所 代表取締役会長  広崎 彰太郎 WTP実行委員 日本電気(株) 執行役員専務 2. 展示:約61社・機関が出展 YRP展示ブースでは、「YRPテストネットフォーラムの活用状況例」としてRFIDを活用した「新世代ITS」やワンセグ放送を活用した「エリアポータル放送」のデモが特に注目を集めた。その他研修事業、国際連携活動、誘致活動等の展示を行った。 3. 技術カンファレンス:(参加人数:371名) ブロードバンドモバイルフォーラム 技術経営(MOT)フォーラム 災害支援フォーラム RFIDフォーラム Cognitive Radioフォーラム ロシア、チャイナ、マレーシアビジネスセッション 4. アカデミア・セッション:16大学(研究発表:29件、ポスター展示:52件、参加人数:1,800名) 会津大学、九州工業大学、慶応義塾大学、杏林大学、上智大学、電気通信大学、東京工業大学、東京電機大学、豊橋技術科学大学、名古屋大学、新潟大学、防衛大学校、北海道大学、横浜国立大学、立命館大学、早稲田大学		広報活動が実施できた。 入場者層と期待客層の若干のずれ。 ブース訪問客が、見込みより少なかった。 初日の天候不順により来場者が若干少なかったのが残念。 所見、反省、来年度の計画等 4月上旬の日程は年度の節目になるので見直しを望む。 時間は午後5時迄でよい。5時以降は来場者もほとんどいない。 出展社数、来場者数を無理に増やそうとすると展示会自体の質が低下する恐れもあり。営業的な事もあると思うが、出展社、来場者からにも信頼される展示会に育ててほしい。 エリアごとにジャンルが決まっていると良かった。(例:システム、部材、装置等) 出展料金が割高。出展料金を下げ、出展企業の増加につなげて欲しい。 休憩スペース(カフェスペース)の設置を望む。 展示会場内に11b/gの基地局が乱立しており、干渉でデモが行えない時間帯が発生した。次年度には改善願いたい。	



主催者 & ご来賓挨拶

菅総務大臣挨拶

展示会場

総務大臣  
展示ご視察

アカデミア  
研究発表

WTP2007  
開会式

テープカット